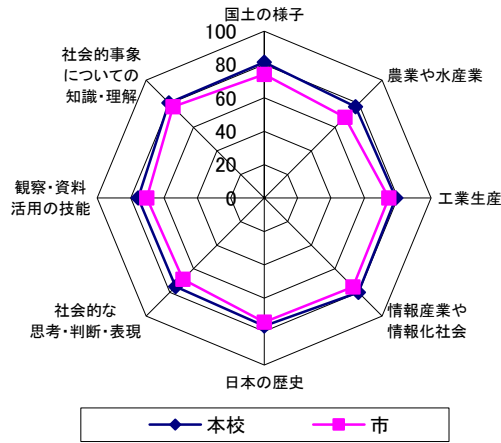


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	81.4	74.1	72.5
	農業や水産業	77.5	68.4	61.6
	工業生産	78.9	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	79.9	75.3	74.0
	日本の歴史	76.7	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	75.2	68.7	64.2
	観察・資料活用技能	75.4	70.3	68.1
	社会的事象についての知識・理解	80.7	77.3	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○ 正答率は81.4%で宇都宮市の平均正答率より7.3ポイント上回っている。「日本周辺の海洋名」と「日本海側の気候グラフについて」は、市・全国平均共に上回っている。 ● 「日本海側の気候グラフについて」の正答率は、4割程度にとどまった。	○ 良好な状況が見られるもの ● 課題が見られるもの ・ 日本の気候について、学習活動に地域の写真を取り入れたり、グラフを多く使ったりと視覚的にもわかる活動を取り入れる。
農業や水産業	○ 正答率は77.5%で宇都宮市の平均正答率より9.1ポイント上回っている。「米づくりに向っている地域の考察」では正答率89.2%と市・全国の平均を大幅に上回っている。 ● 「日本の食料生産について資料に基づき考察する」では、市・全国の平均を上回ったものの、6割程度にとどまった。	・ 学習活動に、資料から読み取れることやその日の学習でわかったことをノートにまとめる活動を取り入れる。
工業生産	○ 正答率は78.9%で宇都宮市の平均正答率より4.2ポイント上回っている。「自動車生産工程の写真選択」「工業地域の特色の読み取り」ともに、市・全国の平均を上回っている。 ● 「工業地域の特色の読み取り」は6.5割にとどまった。	・ 資料やグラフから読み取る学習を多く入れる。 ・ グラフを読み取る際の重要語句を繰り返し指導する。
情報産業や情報化社会	○ 正答率は79.9%で宇都宮市の平均正答率より4.6ポイント上回っている。すべての設問において、市の平均を上回った。	・ 情報の利用のしかた、環境問題、エコなどについて、社会や児童の実態に合った指導を今後も継続する。
日本の歴史	○ 正答率は76.7%で宇都宮市の平均正答率より2.3ポイント上回っている。ほぼすべての設問において、市の平均を上回っている。 ● 「法隆寺について」「鎌倉幕府の始まり」においては、市の平均を下回った。	・ 歴史の出来事を1つの事象としてとらえるのではなく、原因と結果の連続であることを意識させる指導をしていく。